

2019

発行日 毎月1日 通算発行 401号

9



協会報



今月のトピックス

第3回女性技術者のつどいの開催

石川県建設業の働き方改革の取り組み状況調査



石川の工芸シリーズ

金沢美術工芸大学蔵

ぞうがんおぼろぎんかき
象嵌 籠 銀花器

なかがわ まもる
中川 衛【昭和22(1947)年 - 】重要無形文化財保持者(彫金)

制作年 / 平成2(1990)年 サイズ / 口径7.6×胴径24.4×底径10.0×高さ21.1cm 技法 / 象嵌
中川衛は大学を卒業して総合家電メーカーに勤務後、金沢に帰郷。地元の美術館で鑑に施された加賀象嵌の美しさに触れ、加賀象嵌作家の高橋介州に弟子入りした。作家としての地位を確立した現在も創作活動を続け、伝統的な象嵌手法や金属加工の技術を生かし、後進の育成に尽力している。本作品は六角形の角を面取りした器体に銀、金、四分一の線象嵌で幾何学模様を施し、伝統的な技法を生かしながら現代的な感覚を表現している。

“未来”を創り “ふる里”を守る 建設産業

発行所 一般社団法人

石川県建設業協会

〒921-8036 金沢市弥生2丁目1番23号
TEL(076)242-1161(代) FAX(076)241-9258

URL:<http://www.ishikenkyo.or.jp/>



石川の工芸シリーズ
そつがんおぼろぎん か き
 象嵌 銀花器
 中川 徹(なががわ まさる)

1	今月のトピックス	
	第3回女性技術者のつどいの開催	1
2	石川県土木部だより	
	水害に備えたソフト対策の推進について	
	石川県土木部河川課	2
3	平成30年度 農林水産部優良建設工事 知事表彰の紹介 vol.8	
	本建設工業株式会社	4
4	雇用改善コーナー	
	工業系高校生(金沢市立工業高等学校)現場見学感想文	6
5	地区協会コーナー	
	リニューアルされた 森林公園三国山キャンプ場	
	河北郡市土建協同組合	8
6	会員リレーコーナー	
	<small>189</small> 株式会社千場建設	9
7	今月の「輝き！」さん No.54	
	株式会社 表組 高 彪斗 <small>あやと</small> さん	10
8	協会だより	
	常任理事会の開催	11
	新・担い手3法に関する説明会の開催	11
	委員会の開催	12
	総務企画委員会	
	委員会の開催	12
	土木委員会	
	正副委員長会議(第2回)の開催	12
	建築委員会	
	経営者のためのBIMと情報共有システム研修会の開催	12
	土地改良委員会	
	正副委員長・部会長会議の開催	13
	第1回技術検討部会の開催	13
	広報・研修委員会	
	企画部会の開催	14
	建設青年委員会	
	北陸建設青年会議 役員会及び令和元年度総会の開催	14
	「わくわくドキドキワークショップ」に参加	15
	建設技術研修所	
	登録解体工事講習の開催案内	15
9	石川県土木施工管理技士会だより	
	JCMセミナーの開催	16
	正副会長会議(第2回)の開催	16
10	業界時報	
	労働災害発生状況	17
	令和元年度 建設工事受注高調(元請)	17
	石川県建設業の働き方改革の取り組み状況調査	18
11	会員消息	22
12	県協会からのお知らせ	22
13	地区協会からのお知らせ	23
14	関係機関からのお知らせ	24

◆ 今月のトピックス ◆

第3回女性技術者のつどいの開催

(一社)石川県建設業協会(会長 小倉 淳)は、(一社)金沢建設業協会(会長 橋本和雄)、東日本建設業保証(株)の共催で、8月3日(土)午後2時より、金沢ニューグランドホテルプレミア2階「ポロ」にて、第3回女性技術者のつどいを開催した。

つどいは、女性技術者のスキルアップ、働きやすい職場環境の実現を目指して昨年に引き続いて今年で3回目の開催となり、今回は67名が参加した。

冒頭、山岸 勇専務理事より「建設産業の担い手の確保・育成は重要な課題であり、女性技術者の職場環境が良くなり、働きやすさを感じてもらうことで、皆さんが元気になって、建設業も活性化される」と挨拶した。

続いて、(株)感性リサーチ 代表取締役 黒川伊保子氏より「女性脳は天才 働く女性が輝くために何をすべきか」の演題にてご講演をいただいた。講演では、人工知能(AI)の研究開発に従事した経験から、男女の脳の違いを指摘し、「女性は共感とおしゃべりで脳がほぐれるが、男性には長い話をしても無駄。結論を先に言わないと2分で集中力が切れ、モスキート音に聞こえるから」と軽快なトークで「女性は強くたくましく、そして美しく人生を謳歌して」と参加女性にエールを送った。

引き続き、長野県よりお越しいただいた(一社)長野県建設業協会女性部会の倉科部会長、小宮山副部会長から女性部会での女性技術者の現場見学会や女子学生との交流会、セミナーの開催などの活動事例をご紹介いただいた。

その後、ケーキやコーヒーを楽しみながら、各テーブルごとにフリートークが行われた。賑やかな雰囲気の中、「長野県建設業協会女性部会の取り組みについて」、「女性が働きやすく、ずっと続けたいと思えるための職場環境」、「仕事と家庭の両立(結婚、出産等のライフイベントや、共働き世帯での仕事と育児・介護等との両立に必要なこと)」、「石川県における女性部会の設立」等について各グループごとに活発な情報交換が行われた。

情報交換では、「長野県建設業協会女性部会の取り組み活動が大変参考になった」、「職場環境についても」と昔前は結婚または妊娠したら会社を退職し、再就職はパートで働くしかなかったが、最近は育休制度も整ってきており、働きやすい環境になりつつある」、「職場に先輩がいることで、産休・育休の様子がみえるし、話ができるのでありがたい」等といった意見が出された。また「女性職員を対象とした現場見学会を開催してほしい」という意見がどのテーブルからも要望としてあがったことから、現場見学会の実施を検討することとした。



山岸専務理事挨拶



黒川伊保子氏



長野県建設業協会 倉科女性部会長



フリートーク

石川県土木部だより

水害に備えたソフト対策の推進について

石川県土木部河川課

1 はじめに

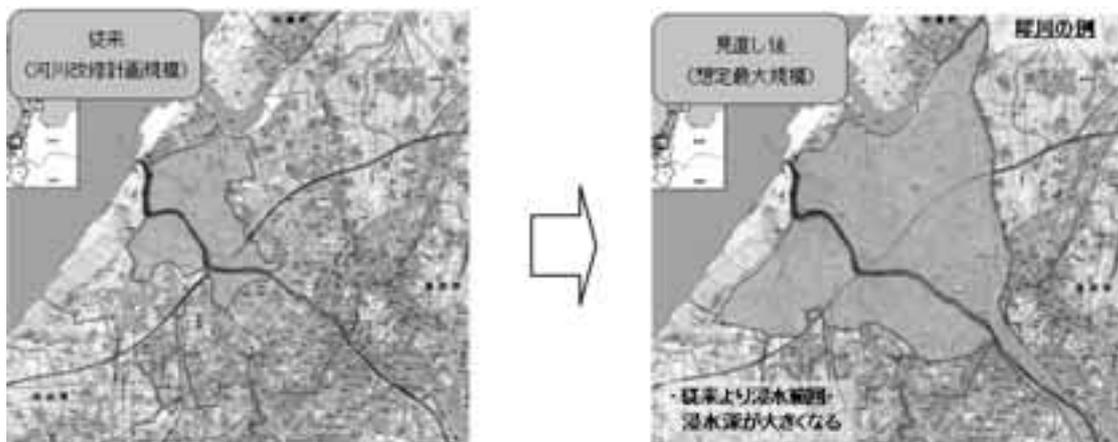
近年、全国各地で集中豪雨が頻発し、大規模な豪雨被害が多発する中、県民の安全・安心の確保を図るためには、住民一人ひとりが高い防災意識を持って、今後の起こりうる大規模水害に備えていくことが極めて重要であります。

このため、県では、ハード対策として、川幅を拡げるなどの抜本的な改修や即効性のある堆積土砂の除去に加え、万一、大規模洪水が発生した際にも、堤防の決壊を遅らせ、住民の避難時間を確保する堤防舗装などに鋭意取り組むとともに、ソフト対策として、住民の避難行動を支援する取り組みや住民の防災意識向上を図る対策を進めています。

2 洪水浸水想定区域図・洪水ハザードマップの見直し

洪水浸水想定区域図については、従来、50年から100年に1回程度発生する河川改修計画規模の降雨を対象としていましたが、近年、想定を超える集中豪雨が頻発していることから、国が平成27年に水防法を改正し、想定し得る最大規模の降雨を対象として見直すこととなりました。県では、洪水により相当な損害を生ずる恐れがある水位周知河川28河川について、これまでに犀川、浅野川など16河川で見直しを完了し、公表したところです。残る12河川についても、今年秋までに見直しを完了する予定です。

これをもとに市町においては、大規模水害時の洪水避難体制の充実・強化を図るため、避難場所などを掲載した「洪水ハザードマップ」の早期見直しを目指しています。



犀川 従来（河川改修計画規模）

犀川 見直し後（想定最大規模）

3 水位・雨量情報のきめ細かな発信

河川水位などのリアルタイム情報については、河川管理や迅速な水防活動に加え、市町の避難情報の発令や住民の自発的な避難行動を支援するために重要であり、「河川総合情報システム」により、インターネットを通じて県民に配信しているところです。

河川水位・雨量・気象の情報などを一元化して表示し、10分間隔で、きめ細やかに情報を提供しており、

河川・海岸のカメラ画像情報も確認できます。また、気象警報や注意報、強い雨の降っている箇所、水位が上昇し危険な河川の情報をメールで配信しています。

石川県河川総合情報システム

<http://kasen.pref.ishikawa.lg.jp/ishikawa/>

◎パソコン用



気になる地域をクリックすれば詳細ページへ

◎スマートフォン用



カメラ画像
GPS機能で現在地付近の情報を取得できます
水位情報

携帯電話サイト

◎ <http://kasen2.pref.ishikawa.lg.jp/>

スマートフォンサイト

◎ <http://kasen.pref.ishikawa.lg.jp/>

メール登録 エモモバイル用サイトからでも登録可能です

◎ ml-entry@pref.ishikawa.lg.jp

登録した河川・河川水位・気象情報をメール配信します。

4 自助・共助による住民一人ひとり、地域ぐるみでの防災意識向上

▶「水害・土砂災害に備えるリーフレット」の作成

住民一人ひとりの適切な避難行動のため、避難情報・防災気象情報の正しい理解や、ハザードマップの活用方法をわかりやすく解説したリーフレットを作成し、県政出前講座等で活用するとともに、今年梅雨期までに、町内回覧や配布をしました。



リーフレット【表紙、裏面】



リーフレット【内面】

▶防災士を対象とした水害・土砂災害セミナー

水害・土砂災害は、山間部や河川の近くといった地形リスクなど、地域の特性に応じた避難行動が重要となることから、地域の自主防災組織の中核となる防災士を対象としたセミナーを、県内5会場で開催しました。

▶地域住民への「県政出前講座」の強化

平成30年9月から新たに、「水害・土砂災害から身を守るために」というテーマを設け、町会などへ出向き、地域ぐるみで水害・土砂災害に対する防災意識の啓発を図る出前講座を始め、平成30年度末までに30件の開催を行ったところであり、今年度も引き続き取り組んでいるところです。

5 おわりに

今後とも、行政と住民がともに防災意識を高め、地域全体で大規模水害に備えていけるよう、ハード・ソフト両面からしっかりと取り組んでまいります。

平成30年度 農林水産部優良建設工事 知事表彰の紹介

vol.8

施工企業名：本建設工業株式会社

工 事 名 平成28年度 農業用河川工作物応急対策
事業 滓上地区 頭首工工事

施 工 場 所 小松市中海町 地内

工 事 概 要

頭首工下部工 1式

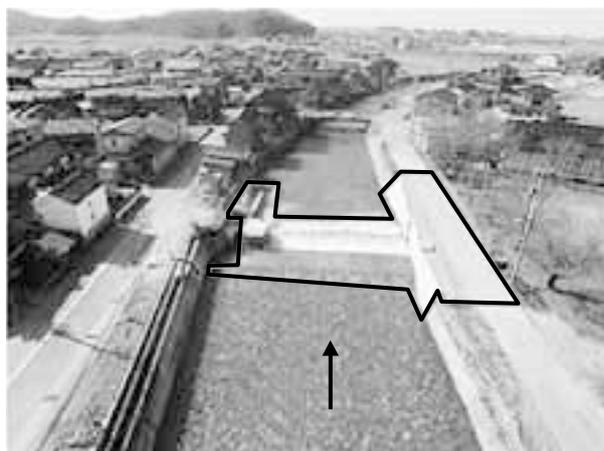
工 期 平成29年9月29日～平成30年3月30日

推 薦 理 由

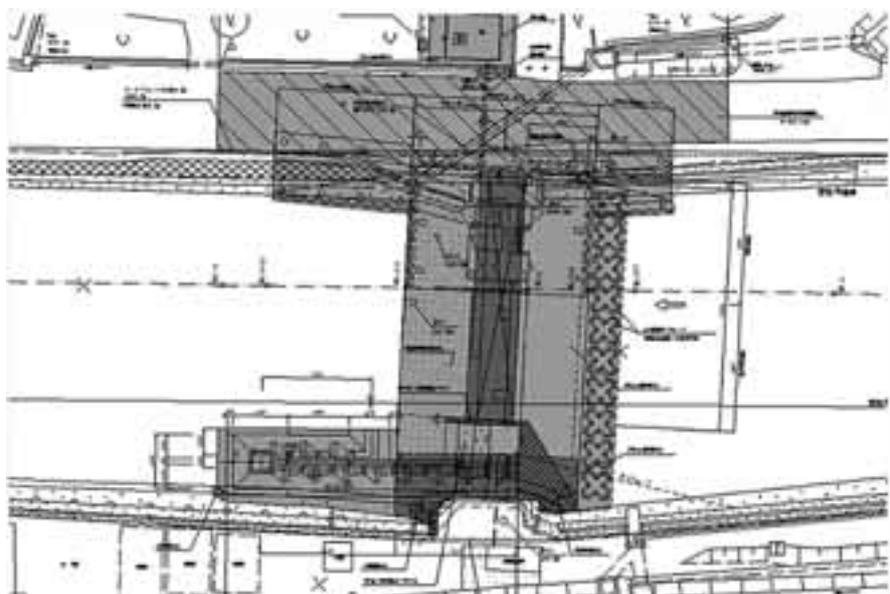
本工事は、1級河川滓上川内での頭首工改修工事で仮締切や、近隣住宅への騒音対策、冬期間の施工など厳しい施工条件の中、水位センサー等による監視体制、超低音型機械の使用や、周辺道路の除雪などにより近隣住民とのトラブルもなく、安全かつ良好な出来映えにて工事を完成させた。



着手前写真



完成写真



平面図



水位センサー設置（水位により回転灯の色が変わる）



鋼管杭打設



最終締切



仮設擁壁工締切

現場代理人のコメント

現場代理人
木津靖夫氏

このたび、栄誉ある知事表彰を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

当工事は、災害により破損した水門復旧を含む頭首工工事であります。当初は河道を3回に分け右岸側から締切施工する予定でしたが、鋼管杭の大幅な納期の遅れが生じたため、締切回数を増やし、先に左岸側の魚道工を仕上げ、次に右岸側を施工する事としました。しかし締切回数が増えることに加え、河川上流部に発電施設があり常時10t / 毎秒の水が放流されるため工期内での施工が難しくなり、発注者と協議し大型土のう締切を仮設重力式擁壁の締切に変更することとしました。おかげで施工可能範囲が広く確保でき、締切回数も減らせ工事も無事工期内に完成することが出来ました。

最後になりますが、南加賀農林総合事務所をはじめ、監督員また地元の皆様、工事に関わる全ての関係者の方々のご指導、お力添えのおかげであり、この場をお借りして深く感謝申し上げます。

雇用改善コーナー

工業系高校生（金沢市立工業高等学校）現場見学感想文

『自分の進路に実感を持つことができた。』

土木科 1年 森田翔喜

私は今日の現場見学で土木の仕事は思っていた以上にきつい仕事だと感じました。

金沢外環状道路海側幹線の現場では、トンネルを造ってその上に車が走る道路を造るという作業をしていました。その際に重いコンクリートを使うと壁が崩れやすくなるので、軽いコンクリートを使うという工夫をしていました。

輪島道路の現場では、VRを使って現場を空から見たり、完成予定の構造物をバーチャルで見たりすることができました。さらに大型の機械を実際に操縦できたりと、自分の進路に実感を持つことができました。

今日は話を聞く以外にも作業を見ることができました。その時にとても高いところで作業している人たちを見てとてもすごいと感じました。私も今回見学した仕事のように、人の役に立つ仕事ができたらと感じました。



『土木の仕事の大変さ、面白さを感じる事ができた。』

土木科 1年 森 北斗

現場見学をして初めて土木の仕事の大変さ、面白さを知覚で感じる事ができました。

金沢外環状道路海側幹線の現場を見学して、車を運転する人が渋滞を避けて移動しやすくなるためには多くの費用と時間がかかっていることを知りました。

輪島道路の現場では、3次元の設計データを活用するICT施工を学びました。今までは何度も測量し、図面化してから施工計画を立てていましたが、その時間が大きく削れるのはすごいことだと思いました。

私が土木の現場で仕事をするようになったら、道路などを利用する人のために最新技術のショベルカーや測量機器を使いこなせるように頑張りたいです。土木の仕事は地図に残る仕事なので私もそんな仕事に就けるように努力していきます。



『土木の仕事は誇らしい仕事だと感じた。』

土木科 1年 石黒一樹

金沢外環状道路海側幹線の現場は、石川県と金沢市が協力して大きな橋を造っていました。次の輪島道路の現場では、道路の下に車が通るトンネルを造るのに1億円もの費用が掛かることが分かりました。VR体験をして実際に仮想で造ることによって自分のイメージができ上がることを体験できました。

今回の見学で土木の仕事は地図に残る仕事で、自分が造ったモノがずっと残ることが誇らしい仕事だと

感じました。それと同時に責任の重大さも感じました。大勢の人が働く現場では、一つのミスが全体に及ぼす影響や迷惑があると知りました。今回の経験を活かして将来のことを考えていこうと思いました。

『土木工事現場でのコミュニケーションの大切さを感じた。』

土木科 1年 松下昂耀

今日は、金沢外環状道路海側幹線と輪島道路の現場見学に行きました。海側幹線の現場では、道路ができるまでのことを学びました。そこで印象に残ったことは土台が大事だということでした。土台が弱いと地震の揺れに対応できないのでピアノ線で造られた杭を50mまで埋めるとのことでした。

輪島道路の現場では、ICTなどのことを学び技術が進歩していることを知りました。測量機器や建設機械などの技術が進歩することにより、正確に時間が短縮できるのですごい効果だと思いました。

見学を通して感じたことは、土木の現場ではコミュニケーションが大切だということです。現場でモノを受け取ったり、どこにどう運ぶかなどをやりとりすることがあっても、相手に上手く伝わっていなければ良い結果に繋がらないこともあると感じました。私も高校生活ではコミュニケーションを大切に、相手に自分の考えを伝えられるようにしていきたいです。



『土木の仕事の良さに気付くことができた。』

土木科 1年 島田鴻河

今日の現場見学では、改めて土木の仕事の良さに気付くことができました。また、それと同時に土木の仕事スケールの大きさと責任感について知ることができました。金沢外環状道路海側幹線と輪島道路の2か所の現場を見学しましたが、土木は地図に残る仕事と仰っていました。時間もお金も掛かる重要な仕事で責任が大きすぎて不安になったりしないのかなと思いました。この仕事で沢山の人の生活が豊かになることこそが土木の仕事の良さだと気付きました。地図に残る仕事は誇れるものであり、沢山の人のためという遣り甲斐があるのが良いところだと思います。

今日の経験から、より土木の仕事の良さについて考えることができたので、誇れる仕事に就けるように勉強していきたいです。

『将来の仕事について視野が広がった。』

土木科 1年 真下咲良

今日の現場見学は、将来について改めて考えさせられる良い機会となりました。見学に行くまでは、父の仕事をとて尊敬していたので、そのことしか頭にありませんでしたが、現場見学をしたときに地域の人たちの暮らしを支える仕事に携わる方法はまだまだあると学びました。将来の仕事についての視野を広げようと思えた見学でした。

輪島道路の建設現場では、ICTを使用することでより効率的で安全な仕事が行われていました。ドローンだけでなくレーザースキャナーなどで3次元のデータを作成する技術には驚きました。最新の技術を使用することで今まで持っていた仕事のイメージや固定観念がすべて覆された気持ちです。技術が発達することで働きやすい環境ができ、安心・安全なものづくりができるのだと分かりました。



地区協会コーナー

リニューアルされた 森林公園三国山キャンプ場

河北郡市土建協同組合

石川県森林公園「三国山キャンプ場」は、石川県森林公園より北東6kmの「石川県森林公園三国山園地」(河北郡津幡町下河合)内の一角にあるキャンプ場です。

平成2年に幾つかの施設が先行オープンし、平成5年に、施設の現在形が整ったとのこと。約9万㎡にも及ぶ場内は、標高200～300mの穏やかな丘陵地帯が広がり、杉、アテ、コナラなどの雑木に覆われて至るところに灌漑用の池沼が散在しています。とにかく美しい自然に囲まれた森の中には、各種の施設が完備されています。大型ログハウスが4棟、小型ログハウスが5棟、区画整備されたオートキャンプサイトが12



区画、通常の自由なキャンプサイトが30区画のほか、炊事棟、バーベキュー舎、キャンプファイヤー場等の施設を有しています。平成27年4月以来、地すべり対策工事のため休園していましたが、本年4月にリニューアルオープンの運びとなりました。ログハウス内のトイレが和式から洋式に改修されたほか、一部のログハウスでは、バリアフリーに対応し、高齢者でも安心して使用出来るとのこと。また、全てのログハウスにエアコンが完備されたほか、新

たに、女性専用シャワー棟が設置されたことで、高齢者や女性に優しい使い勝手の良い施設へ生まれ変わりました。更に、ログハウスには、風呂、トイレ、冷蔵庫、ガス等が一揃え整えられているので、キャンプの醍醐味とは違う、別荘のような「非日常的な一時」を過ごすことが出来そうです。他方、目に見える部分の改修だけではなく、水道管の布設替えや井戸のポンプ新規取替など、ライフラインの改修によって安全性の確保が強化されたことにより、一層、安心安全な環境へと進化しました。現在、年間の利用客は平均で約2000組、約1万人の方が利用されており、県内はもとより、隣接の富山県をはじめ全国各地から来園されています。オープンは毎年3月1日、クローズは11月30日ですので、皆様方も、シーズン中にお仲間の方々と「バーベキュー」等で訪れてみてはいかがでしょうか。



お問合せ先

三国山キャンプ場管理事務所 TEL:076 287 1622

会員リレーコーナー

189 株式会社千場建設

(所在地：石川県七尾市常盤町13番12)



社章

弊社は、先代の父が旧能登島町の閨という小さな地区に、昭和38年5月に土木工事業を業務として個人創業致しました。

その後、昭和62年5月に法人化、平成14年9月に本社を現在地に移転、平成15年6月には関連会社として、産業廃棄物処分業を目的とした(有)ラックスを旧能登島町閨地区に設立し、木くず、コンクリートくず、アスファルト・コンクリートくずを中心に中間処理を行っております。それに伴い、弊社も一般家屋から高層ビルまで幅広く解体工事を行うようになり、現在に至っております。

先代は、海上工事、飲食店、アスベスト処理業、産業廃棄物処分業、解体工事業、1級建築士事務所などいろいろな事業に挑戦し、撤退したのものもありますが、おかげさまで、前年度はグループ全体で過去最高の売上を達成することができました。先代の挑戦心を引き継ぎ、アンテナを張り巡らせて、これからもいろいろなことにチャレンジしていきたいと考えております。

現在の建設業は、人手不足が問題となっておりますが、当社も例外ではなく、特に技術職の高齢化が進んでいるため、人員の確保と技術伝承などが



社屋

課題となっています。弊社では、入社した若手には必ず4tダンプを運転できるように免許を取得してもらうなど、必要な資格は積極的に取得させるようにしています。また、今年度から休日を増やすとともに、最低でも4週6休を目標としています。

また、i-Constructionの技術講習会には積極的に参加し、将来一般的になるであろう、ICT施工の準備を進めています。

私は、昨年4月に就任したばかりの社長です。右も左も分からない新米社長ですので、

- 一．自己の健康管理を徹底し、人を大切にする。
- 一．自己の未来・人生を計画し、技術の向上に努め、成長し続ける。
- 一．地域の行事には積極的に参加し、交流を深め、地域住民の手助けとなる。

を信条として、勉強の日々です。

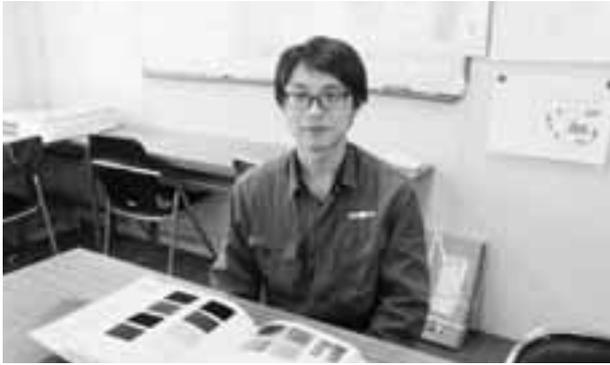
最後になりますが、地域のため、建設業界の発展のため、微力ながら社員と一丸となって貢献していきたいと思っております。

今回は株式会社山崎建設 代表取締役 山崎美智夫さんにバトンをお渡ししますので、よろしくお願いします。

(株式会社千場建設 代表取締役 藤瀬敏彦)

今月の「輝き！」さん

No. 54



株式会社 表組 高 彰斗^{あやと}さん

業 種：建築部
経験年数：2年6ヶ月
年 齢：21歳

かほく市外日角の現場事務所に今月の輝きさん 高彰斗さんを訪ねました。

- ここはどのような現場ですか？

この現場は、かほく市立外日角小学校の長寿命化改修工事の現場で、耐震化をはじめ、外装改修工事や増築工事等を行っています。他社とのJVで施工しており、私は昨年6月からこの現場に配属されています。

- あなたの会社について教えてください。

私が勤務する株式会社表組は、明治2年創業で従業員数41名の総合建設業の会社です。建築、土木、一般住宅、不動産など幅広く事業を展開しており本社には8つの事業部がありますが、私は建築部に所属し公共・民間建築物等の現場で施工管理を担当しています。

- あなたの経歴と会社への入社動機について教えてください。

私は、羽咋郡志賀町(旧富来町)出身で、地元の小・中学校を経て石川県立羽咋工業高等学校建設造形科(建築コース)を卒業しました。父や祖父、周りの親

戚が地元で建設関係の仕事に就いていたこともあり、子供のころから「ものづくり」に興味がありました。将来は、父や祖父と同じく建設業に就き地図に残るような仕事がしたいと思っていたので、工業高校を選びました。就職先については、親元を離れ一人暮らしも経験してみたいと思っていたので、担任の先生のアドバイスもいただき、先輩も働いている表組に決めました。

- 現場を経験して思うことはありますか？

入社して間もなく老人ホームの改修工事を経験しました。この現場は、高齢者の方々が入居したままの状態です。工事を進める必要があり、騒音対策など各種の制約がある中での工事でしたが、協力会社をはじめ関係の方々と連携しながら無事完成させることができました。工事の段取りや工程管理の難しさなどを初めて経験しましたが、完成後に入所者の方々が綺麗になったと喜んでくれたことが大変嬉しく、改めてこの仕事を選んで良かったと思いました。

- 休日の過ごし方、趣味について教えてください。

小学校から高校までバスケットボールをしていました。今は運動をする機会も少なくなりましたが、毎年2月の志賀町バスケットボール大会に地元の友人とチームを組んで出場しています。休日は、好きな音楽を聞いたり映画を観たりしています。他にもやりたいことはありますが、来年には2級建築施工管理技士と2級建築士の受験資格が付くので、合格を目指して今から少しずつ準備をしています。

- 将来の夢、目標は？

多くの現場を経験し、仕事を覚え、必要な資格も取得して、一日も早く現場を任せてもらえるようになりたいと思っています。将来的には、設計部門で住宅等の設計に携わりたいと思っています。

HELL OF FIVE
FIREMAN

けんせつ一番星

「-Sunset Express-MOVE」毎月第4火曜日 18:00~18:05

エフエム石川で毎回、建設業界で働く業界のホープ「けんせつ一番星」の方にインタビューし建設業界の魅力や仕事への意気込みなどに迫ります。

是非お聞きください。

協会だより

常任理事会の開催

(一社)石川県建設業協会(会長 小倉 淳)の常任理事会は、8月5日(月)午後2時から、石川県建設総合センター特別会議室において開催された。

会議に先立ち、県政出前講座が行われ、竹内陽一石川県企画振興部企画課長から「国立工芸館の移転」について説明を受けた。竹内課長からは、国立工芸館(東京国立近代美術館工芸館)移転の経緯や整備イメージ、工事の状況、移転(展示)作品、オープンまでのスケジュール等について詳細に説明をいただき、出席者一同、工芸王国・石川にふさわしい施設の移転について理解を深めることができた。

続いて常任理事会が開催され、冒頭、小倉会長の挨拶に続き、次のとおり議題報告・説明がなされた。

1. 第25回参議院選挙の結果について
山岸専務理事より、第25回参議院選挙の結果(佐藤のぶあき候補得票数)について資料に基づき報告がなされた。
2. 建設業をめぐる最近の話題について
山岸専務理事より、「新・担い手3法」制定、適正な工期の基準策定へ等9件の話題について報道記事に基づき説明がなされた。
3. 今後の主な日程について
事務局から、県協会の今後の行事予定について説明がなされた。
4. 会員受注高調べについて
山岸専務理事より、本年6月末の受注高調べについて説明がなされた。
5. 地区協会からの報告について
各地区協会より、主な行事予定、業界事情、社会状況等についての報告がなされた。
6. 働き方改革の取り組み状況調査結果報告について
山岸専務理事より、本年春に実施した「石川県建設業の働き方改革の取り組み状況調査」の取りまとめ結果について、資料に基づき報告・説明がなされた。



新・担い手3法に関する説明会の開催

北陸地方整備局主催の「新・担い手3法に関する説明会」が、8月26日(月)午後、石川県建設総合センターで開催された。建設業の働き方改革を進め、将来の担い手を確保するため、本年6月、建設業法、公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律並びに公共工事の品質確保の促進に関する法律の改正が行われたが、これらの改正の概要について説明が行われたもので、会員企業や自治体の関係者等140人が出席した。

国土交通省の担当者からは、建設業の働き方改革の促進、建設現場の生産性の向上、持続可能な事業環境の確保等に関し、関係する法律の改正ポイントについて詳細に説明があり、出席者一同、新・担い手3法についての理解を深めた。



委員会の開催

総務企画委員会

委員会の開催

総務企画委員会（委員長 鶴山庄市）は8月5日（月）午後3時から、石川県建設総合センター会議室において委員会を開催した。鶴山委員長あいさつの後、災害協定による出勤時の補償について、現在石川県と締結している災害協定では、災害活動に従事する者に対する損害補償が十分ではなく、安心して災害活動に従事するため、他県協会の状況を参考に意見交換を実施、委員会では、現状認識を新たにし、今後、



関係機関の状況等を見守りつつ検討することとした。

なお、全建では、昨年ブロック会議において、災害応急活動に対応している建設企業への損害補償を検討すべきであると提案している。

土木委員会

正副委員長会議（第2回）の開催

土木委員会（委員長 竹腰勇ノ介）は、第2回役員会に提案する議題内容を審議するため、去る8月9日（金）に正副委員長会議（第2回）を石川県建設総合センター会議室において開催した。

この会議では、6月11日（火）～26日（水）に実施した「各地区協会との意見交換会」で発言された意見・要望内容の確認と、県土木部（技監）に対して早急に改善を求める発注工事に関する議題内容について確認した。

また、令和元年度の当委員会の主要活動の一つでもある「現場研修会」については、今年度は総務部会・施工対策部会の2部会合同開催とし、視察場所は関西方面の明石海峡大橋主塔登頂、又は琵琶湖疎水等を候補地とした。併せて、社会科見学施設もこの研修会に組み入れたもので計画することとした。実施日については、10月30日（水）～31日（木）の1泊2日の行程で計画することを確認し、散会した。



建築委員会

経営者のためのBIMと情報共有システム研修会の開催

建築委員会（委員長 橋本和雄）は、8月27日（火）、石川県建設総合センターで北陸地方整備局営繕課の出前講座として、「経営者のためのBIMと情報共有システム研修会」を開催した。会員27名が参加した。

橋本委員長の挨拶の後、整備局
営繕部技術評価課長米原 賢氏よ
り、「営繕工事における生産性向
上技術の更なる活用拡大」と題し
て、建設業における高齢者の退職
や若年労働者不足、働き方改革関
連法が今年4月に施行されたこと



により、今後、営繕工事でもi-Constructionの活用による生産性向上が必要であること及び国土交通省における営繕部門の生産性向上に向けた取り組み状況について紹介をいただいた。

この中で、コンピューター上に作成した三次元の形状情報に加え、建築物の属性情報を併せ持つ建築物情報モデルを構築するシステムである「建築BIM」の国土交通省における活用状況や役割と機能、施工BIMの試行状況について解説をいただいた。また、現場作成書類の削減のための情報共有システム(ASP)の活用状況、電子小黒板の活用事例と現場管理の効率化の検証についても説明をいただいた。

質疑応答・意見交換では、BIMを導入している企業からは、BIMを取り扱える技術者が不足しているため、今後、専門のプログラマーの養成が不可欠であること、電子小黒板は土木工事での活用は進んでいるが建築工事では撮影前のフォルダの作成、黒板記載内容の入力に労力を要するため、あまり利用が進んでいないことなどの意見もあったが、手書きの設計図から今ではCADによる設計が当たり前になったようにBIMや情報共有システム(ASP)も、今後、有用なツールとなることが確認された有益な研修会となった。

土地改良委員会

正副委員長・部会長会議の開催

土地改良委員会(委員長 真柄卓司)は、8月6日(火)午後2時から、石川県建設総合センター401会議室で、正副委員長及び技術検討部会長以下6名の出席で、正副委員長・部会長会議を開催した。

会議の内容は、当委員会員から提出された県農林水産部への要望等について、内容の確認と検討方針等の打合せを行った。



第1回技術検討部会の開催

令和元年度第1回土地改良委員会技術検討部会(部会長 小柳 誠)が、8月23日(金)午前10時30分から石川県建設総合センター401会議室で、小柳部会長以下18名の出席のもと開催された。

最初に、小柳部会長より開会挨拶の後、当委員会員から提出された県農林水産部への要望等について、設計積算、入札契約、その他に区分けし、現場条件や施工状況等から要望として適切かどうかを検討・審議した。最後に、農政局長への施策提案(7月29日(月)実施)及び石川県における豚コレラ対策等について報告し閉会した。



広報・研修委員会

企画部会の開催

広報・研修委員会(委員長 高田直人)の企画部会は、8月20日(火)午前10時30分から、石川県建設総合センター会議室において開催された。冒頭、高田部会長の開会の挨拶が行われた後、引き続き下記議題について次の通り審議・報告を行った。

1 協会報9月号について

事務局説明の編集計画が承認された。

2 研修所からのお知らせ

「建設業経営講習会 in 能登2019」の開催結果について報告がなされた。

3 その他

9月19日(木)午後4時から、ホテル金沢において全体会議を開催し、外国人技能労働者の受け入れ制度に関する講演会を開催することとした。



建設青年委員会

北陸建設青年会議 役員会及び令和元年度総会の開催

北陸建設青年会議(会長 開 章夫・富山県)では、8月27日(火)役員会及び令和元年度総会をホテルグランテラス富山にて開催した。

役員会(13:30~)

開会長挨拶の後、令和元年度の総会運営について各役割分担等を確認し、議案の説明等を行った。その後、第25回全国大会の企画について協議を行った。

令和元年度総会(15:45~)

開会長挨拶の後、審議に入り早木幹事長司会のもと、平成30年度事業報告と収支報告並びに令和元年度事業計画と収支予算を富山県事務局より説明、それぞれ満場一致で可決し承認した。また、富山県役員改選の為、下記のとおり役員を選任が行われた。



役 職	氏 名	会社名	役 職	県
会 長	開 章夫	昭和建設(株)	代表取締役	富山県
副会長	北川 隆明	北川ヒューテック(株)	代表取締役社長	石川県
〃	猪俣 一成	(株)巴山組	専務取締役	新潟県
幹事長	早木 康満	(株)早木工業	代表取締役専務	富山県
幹 事	高平 公輔	新栄建設(株)	代表取締役社長	〃
〃	梅本 大輔	梅本建設工業(株)	代表取締役社長	〃
〃	松嶋 幸治	松嶋建設(株)	専務取締役	〃
〃	北尾 知大	北尾工業(有)	代表取締役社長	〃
〃	辻森 久美	巻建設(株)	代表取締役	石川県
〃	明翫 圭祐	(株)明翫組	代表取締役社長	〃
〃	吉光 成寛	(株)吉光組	取締役副社長	〃
〃	富樫 隆教	(株)富樫組	専務取締役	新潟県
〃	細川 一彦	(株)中越興業	常務取締役	〃
〃	森下 真明	(株)森下組	常務取締役	〃
〃	水嶋 貴之	(株)保坂組	取締役経営企画部長	〃
顧 問	大嶋 正寛	(株)大島組	代表取締役社長	〃

講演会(16:20~)

総会終了後、国土交通省北陸地方整備局 内藤正彦企画部長より、「北陸の地域づくり」と題して、新潟、富山、石川の基盤整備状況や建設現場の生産性向上の取り組み等について約1時間にわたりご講演をいただいた。

懇親会(17:30~)

最後に懇親会を開催、開会長挨拶の後、内藤企画部長よりご祝辞をいただき、(一社)富山県建設業協会 竹内会長の乾杯により開宴、出席者全員和気藹々のうちに、北川副会長の閉会の挨拶で終了した。

「わくわくドキドキワークショップ」に参加

建設青年委員会(委員長 北川隆明)は、三和児童館主催の「わくわくドキドキワークショップ」に建設業ブースとして参加した。

このイベントは、小学生に様々な職業体験を行ってもらふ事により、仕事に対する理解等を深めてもらう事を目的として実施された。

建設業ブースでは、プールに浮かぶボールをすくうミニ建機試乗体験やトイドローン操作体験を行った。

体験を通じて、子供たちに建設業の大切さや楽しさを知ってもらふいい機会となった。

**建設技術研修所****登録解体工事講習の開催案内**

下記の日程にて「登録解体工事講習」を開催しますのでご案内申し上げます。

日 時	10月28日(月) 12:20~
場 所	石川県建設総合センター7階 大ホール(金沢市弥生2丁目1番23号)
申込期限	9月30日(月)
定 員	150名
受講対象者	<ul style="list-style-type: none"> ・解体工事の営業所専任技術者、監理技術者又は主任技術者となる方 ・平成27年度以前の土木施工管理技術検定試験(1級又は2級(種別「土木」))、建築施工管理技術検定試験(1級又は2級(種別「建築」又は「躯体」))に合格した者 ・技術士(建設部門又は総合技術監理部門「建設」)の2次試験に合格した者 <p>なお、上記2級試験の合格者の方が、特定建設業の営業所専任技術者又は監理技術者となるためには、さらに解体工事に係る指導監督的な実務業務(2年以上)が必要となります。</p>

なお、当講習会はCPD 4ユニット、CPDS 5ユニット対象となります。

受講の申し込み、その他問い合わせについては、下記担当者までお問い合わせください。

(一社)石川県建設業協会 事務局 坂本 TEL: 076-242-1161

石川県土木施工管理技士会だより

JCM セミナーの開催

石川県土木施工管理技士会(会長 江口介一)は、8月7日(水)に石川県建設総合センター7階大ホールにおいてJCM セミナーを開催した。

この講習会は、「コンクリート施工で失敗しないための講座」をテーマに近未来コンクリート研究会代表の十河茂幸氏が講義を行った。この講習を受講することにより、CPDSが4ユニット付与された。

今回は、51名の参加があり、コンクリートの専門家による分かりやすい講義であったため、熱心に受講していた。



正副会長会議(第2回)の開催

石川県土木施工管理技士会(会長 江口介一)は、8月20日(火)に令和元年度正副会長会議(第2回)を石川県建設総合センターにて開催した。会議では、下記の議題について審議を行った。

<審議内容>

1. 令和元年度活動報告(中間報告)について

- ・4月から8月迄の間の技士会活動について了承した。

2. 今後の事業計画(活動計画)について

現場研修会について

現場研修会については、毎年県内の現場を視察していたが、今年度は1泊2日の行程で開催するため、視察場所及び開催時期について議論した。視察場所については、名古屋市及び周辺の中京圏内とし、10月16日(水)~17日(木)にかけて実施する事とした。

第2回役員会について

11月26日(火)にホテル日航金沢にて開催する事とした。

北陸地方整備局と北陸三県技士会との意見交換会について

北陸地方整備局との意見交換会において、今年度、石川県技士会が担当(幹事県)となるため、開催場所及び日程について議論した。開催場所は例年どおり、新潟市での開催とし、日程については2月中旬~3月上旬の間で行うことで北陸地方整備局、全国技士会連合会と日程調整をする事とした。

令和元年 ~交通マナーアップいしかわ~

秋の全国交通安全運動

期間 9月21日(土)~9月30日(月)

運動の重点

- 子どもと高齢者の安全な通行の確保
- 高齢運転者の交通事故防止
- 夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗用中の交通事故防止
- 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
- 飲酒運転の根絶

9月30日は「交通事故死ゼロを目指す日」

業界時報

労働災害発生状況 ～建設業労働災害防止協会～

署別・業種別件数（令和元年分）

令和元年7月末 速報

業種別 署別	土木工事	建築工事	設備工事	計	前年同期	全産業
金沢監督署	5	(12)24	6	(12)35	(4)34	352
小松監督署	10	(3)5	2	(3)17	(4)16	103
七尾監督署	3	(5)10	3	(5)16	(5)14	69
穴水監督署	4	(1)2		(1)6	(5)6	31
計	22	(21)41	11	(21)74	(18)70	555
前年同期	16	(18)36	18	(18)70		684

()内は木建工事 内は死亡者数

令和元年度 建設工事受注高調（元請）

民間

（単位100万円）

	土 木			建 築			計		
	令和元年度	平成30年度	%	令和元年度	平成30年度	%	令和元年度	平成30年度	%
5月分	410	323	126.9%	881	1,707	51.6%	1,291	2,030	63.6%
6月分	316	413	76.5%	2,211	2,980	74.2%	2,527	3,393	74.5%
7月分	224	240	93.3%	1,454	1,832	79.4%	1,678	2,072	81.0%
年度累計	1,135	1,155	98.3%	6,193	9,836	63.0%	7,328	10,991	66.7%
29年度累計		2,186	51.9%		12,479	49.6%		14,665	50.0%
28年度累計		1,980	57.3%		6,220	99.6%		8,200	89.4%

官公庁

	土 木			建 築			計		
	令和元年度	平成30年度	%	令和元年度	平成30年度	%	令和元年度	平成30年度	%
5月分	3,243	1,863	174.1%	568	512	110.9%	3,811	2,375	160.5%
6月分	4,127	3,827	107.8%	6,621	1,694	390.9%	10,748	5,521	194.7%
7月分	5,016	5,147	97.5%	1,267	610	207.7%	6,283	5,757	109.1%
年度累計	16,777	12,320	136.2%	8,830	2,996	294.7%	25,607	15,316	167.2%
29年度累計		9,821	170.8%		3,905	226.1%		13,726	186.6%
28年度累計		14,343	117.0%		7,200	122.6%		21,543	118.9%

合 計（民間 + 官公庁）

	令和元年度	平成30年度	%
5月分	5,102	4,405	115.8%
6月分	13,275	8,914	148.9%
7月分	7,961	7,829	101.7%

	令和元年度	平成30年度	%
年度累計	32,935	26,307	125.2%
29年度累計		28,391	116.0%
28年度累計		29,743	110.7%

石川県建設業の働き方改革の取り組み状況調査

1 調査概要（調査の目的）

当協会では、建設業を若者に魅力ある産業に育て、担い手確保・育成を図るとい建設産業の再生に向け、働き方改革として、段階的に休日を増やす対策として全国建設業協会が提唱する「休日月1プラス運動」を推進している。取り組みから1年が経過したことから、会員企業の取り組み状況を把握し、今後の対応について検討するためにアンケート調査を実施した。

調査実施：平成31年2月18日～3月 回答率45.4%（回答207社中94社）

2 調査結果

(1) 集計に当たって

アンケート調査は、次の3つの時期に分けて調査し、集計しました。

H30当初

昨年（平成30年1月1日～12月31日）の当初の会社休日カレンダーによる休日状況を調査（「H30当初」と言う。）

H30での取組

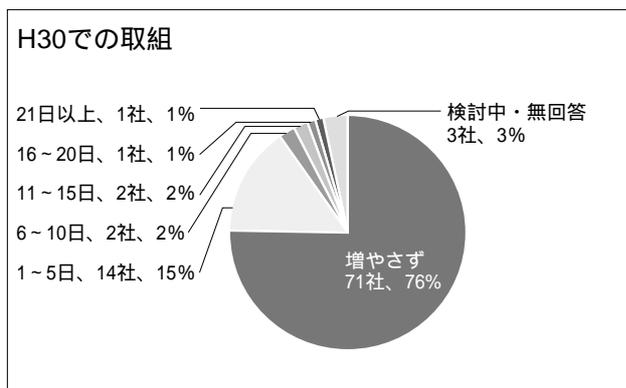
平成30年5月28日の総会で、当協会は「休日月1プラス運動」を進めることし、その取り組み状況を調査（「H30での取組」と言う。）

H31計画

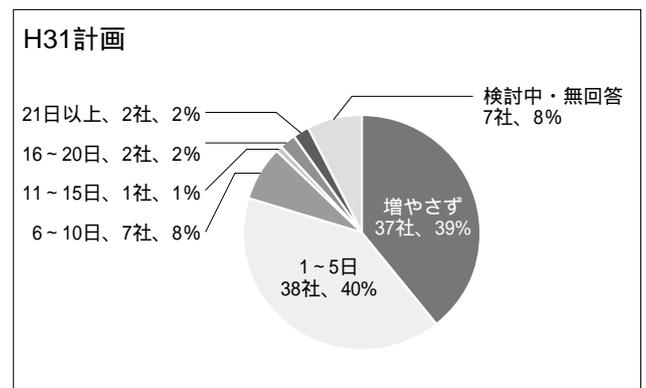
今年（平成31年1月1日～12月31日）の計画の会社休日カレンダーによる休日状況を調査（「H31計画」と言う。）

(2)-1 休日日数の増加状況【現場職員】

- ・休日を増やした社は、H30での取組で21%（=15+2+2+1+1）から H31計画では倍増より多い53%（=40+8+1+2+2）に増加しており、取り組む社は着実に増加している。
- ・また、「休日月1プラス運動」は 増0.25日/月。



月当たり休日数 増0.10日

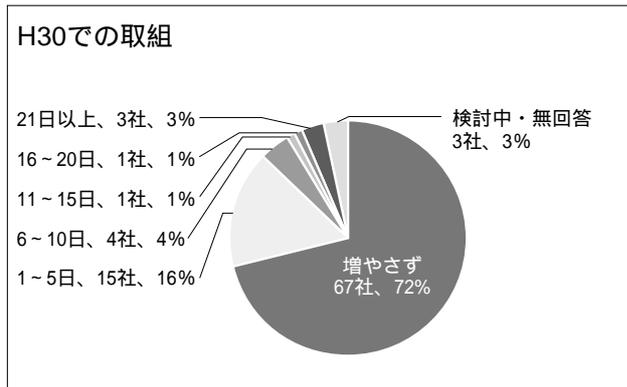


「休日月1プラス」運動
H31計画：増0.25日/月

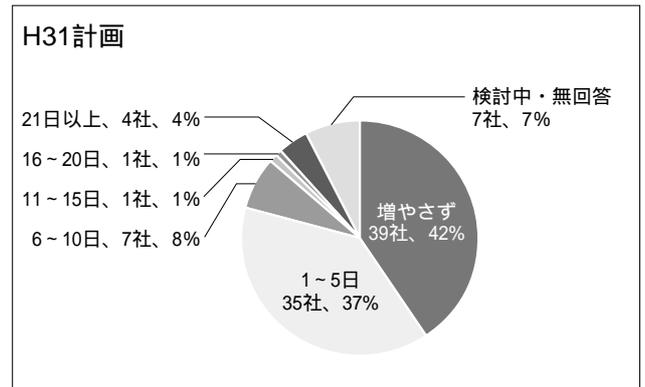
(2)-2 休日日数の増加状況【内業職員】

- ・休日を増やした社は、H30での取組で25%（=16+4+1+1+3）から H31計画では倍増の51%（=37+8+1+1+4）に増加しており、取り組む社は着実に増加している。

・また、「休日月1プラス運動」は 増0.28日/月。



月当たり休日数 増0.18日

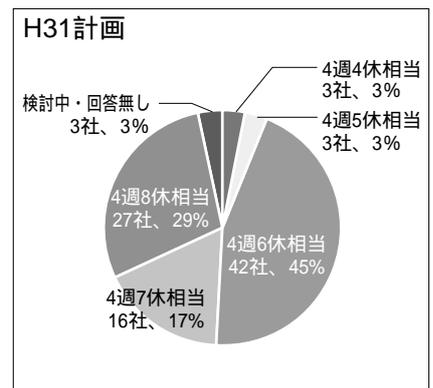
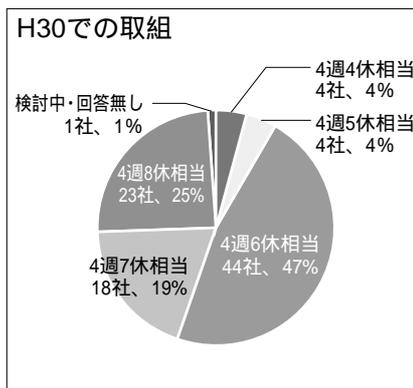
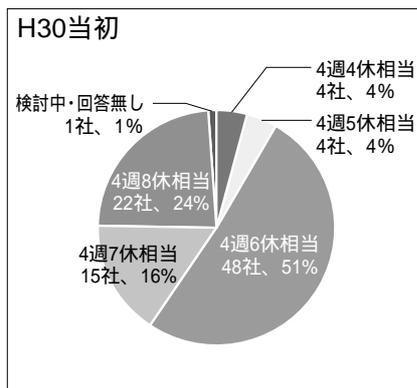


「休日月1プラス」運動
H31計画：増0.28日/月

(3)- 1 1ヶ月当たりの休日の状況【現場職員】

- ・H30当初では4週6休相当が51%と過半数を占め一番多い割合となっている。
- ・H31計画では4週6休相当が45%と依然と一番多い割合ですが、4週8休相当29%と4週7休相当17%計46%で4週6休相当の45%を越えており、4週7休相当以上が主流となってきている。
- ・しかしながら、4週4休及び4週5休相当が依然として残っている。

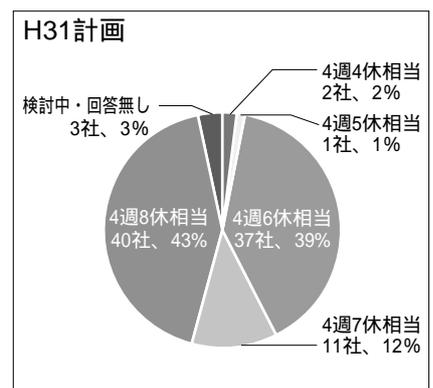
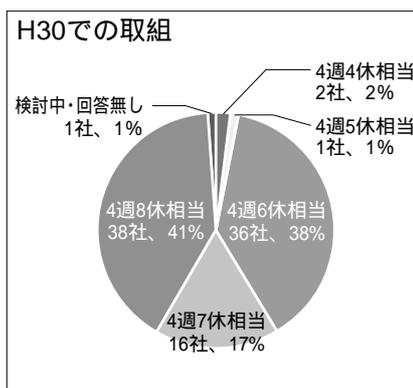
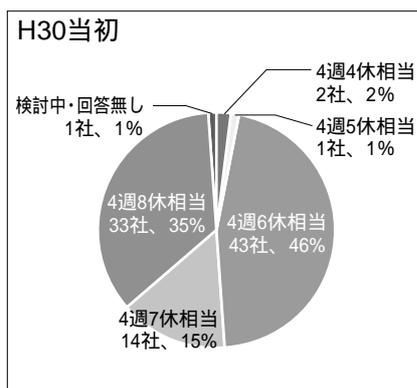
以上より、休日の状況は、4週7休相当以上が主流となり、着実に4週8休相当へ移行している。



(3)- 2 1ヶ月当たりの休日の状況【内業職員】

- ・H30当初で4週6休相当の46%と一番多い割合が、H31計画では4週8休相当43%が一番多い割合となり、主流となってきている。
- ・しかしながら、4週4休及び4週5休相当が依然として残っている。

以上より、休日の状況は、着実に4週8休相当へ移行している。



(4) 1年間で休日を(5日以上)増やした上位25社の具体的な取り組み状況

- ・ 休日を5日以上増やした25社の具体的な取り組みを調べると、以下の取り組みが多くなされている。

計画的に休日を付与	計14社
GWの前後に休日を増	計8社
盆休み、年末年始休暇前後に休日を増	計11社
工事完了時に休日を増やし連続休暇	計8社

また、自由記述の その他は、次の三つの取り組みに大別される。

- ・ 週休二日制を導入
- ・ 土曜日を中心に休日を増やす
- ・ 社員旅行やリフレッシュ休暇など有休休暇と組み合わせることで休日を付与

H30での取組、31計画の具体的な取組内容

具体的な取組内容	H30での取組	H31計画	計
計画的に休日を付与	5	9	14
半日、時間単位の休日を付与	2	0	2
祝祭日を休日に	0	1	1
土日祝日の前後に休日を増	1	2	3
GWの前後に休日を増	2	6	8
盆休み、年末年始休暇前後に休日を増	4	7	11
工事完了時に休日を増やし連続休暇	2	6	8
その他	6	6	12
計	22	37	59

H30での取組 その他 6社 内業職員を完全週休2日にした 昨年6月から休日を4日増やした 月に1回、土曜を休日にした 地区協会カレンダー + 土曜を中心に休日を増やす 社員旅行2日間を有休休日。4日間を休日促進日とした JV参加職員へリフレッシュ休暇5日を与えた	H31計画 その他 6社 週休二日制を導入した 土曜の休日を増やす。隔週で土曜を休日にする 2社 地区協会カレンダーを基に土曜を基準に休日を増 社員旅行2日間を有休休日。4日間を休日促進日とした JV参加職員へリフレッシュ休暇5日を与えた 工事完了時に有休を取得
--	---

3 現場職員のH31計画の地域別、1ヶ月当たりの休日の状況

今回のアンケート調査回答94社を、野々市以南の「加賀地域、25社」、金沢市の「金沢地域、40社」、河北郡市以北の「能登地域、29社」の地域に分け、取りまとめた。

加賀地域

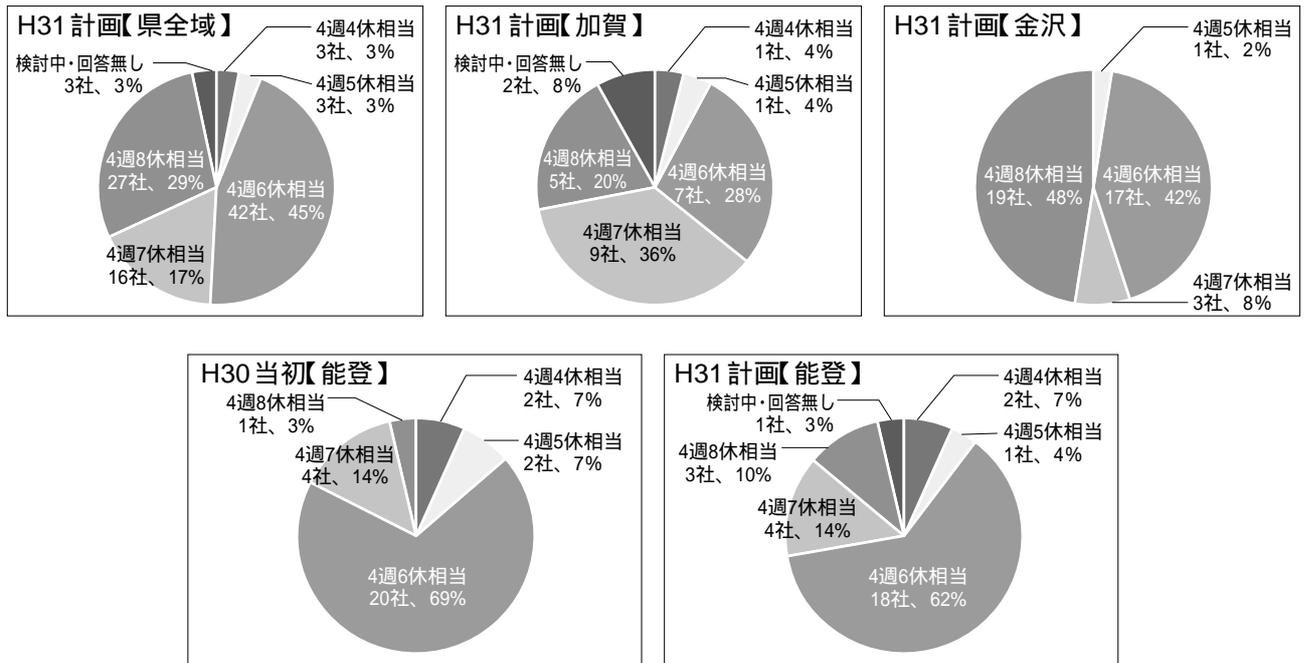
- ・ 県全域と比べると、4週7休相当以上が56% (= 36+20) と過半数を占め、主流となっている。
- ・ しかしながら、4週8休相当が20%と県全体の29%と比べると少ないこと、4週5休相当以下が依然として残っている。

金沢地域

- ・ 県全域と比べると、4週8休相当が48%と一番多い割合を占めており、主流となっている。
- ・ しかしながら、4週6休相当が42%と半分弱と残っており二極化していること、4週5休相当が依然として残っている。

能登地域

- ・ H30当初と比べると、4週7休相当以上が17% (= 14+3) から24% (= 14+10) と増え、4週6休相当は69%から62%に減少し、休日状況は改善している。
- ・ しかしながら、県全域と比べると、4週7休相当以上が24%と少なく、4週6休相当は62%の過半数を越え改善が遅れている。



4 現場職員の残業状況

平成31年4月1日より改正労働基準法が施行となり残業時間の上限が定められ、建設業においては5年後に適用されます。

・改正の概要は、

原則、残業時間の上限は1ヶ月45時間。

特別条項でも上回ることの出来ない以下の項目が設けられている。

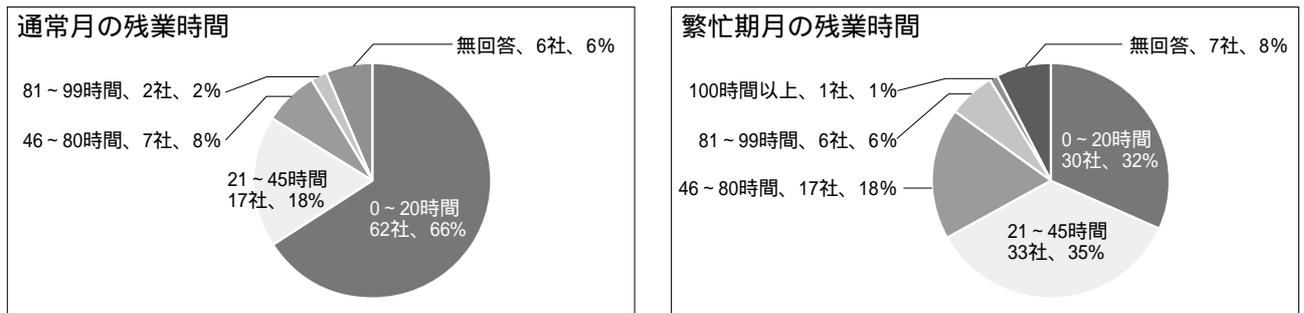
年720時間（月平均60時間）

年720時間の範囲内で、繁忙期であっても「単月100時間未満」で「2～6ヶ月平均で80時間以内」などとされています。

・アンケート調査で

通常月の残業45時間/月を超える社が10%（=8+2）いる。

繁忙期でも上回ることでできない残業80時間/月を超える社も7%（=6+1）いる。



5 今後の対応

(1) 休日状況の対応

- ・現場職員及び内業職員ともに休日状況は、4週6休相当から、4週8休相当へ着実に移行している。
- ・休日日数の増加状況は「現場職員 増0.25日/月」「内業職員 増0.28日/月」にとどまっておらず、目標の「休日月1プラス」に届かなかった。
- ・このため、当協会としても「休日月1プラス運動」を引き続き継続するとともに、担い手確保育成等のために種々の運動を会員に呼びかけ、若者にも魅力ある職場になるよう取り組むことが必要である。

(2) 残業の対応

- ・改正労働基準法で残業時間の上限と定める「通常月の残業45時間/月」「繁忙期月の残業80時間/月」を超える社が存在している。
- ・このため、建設業に適用される5年後までに、残業対策に取り組むことが必要である。

～本調査にご協力をいただいた皆様にあらためて感謝を申し上げます～

会員消息

今回届け出があったのは次の5件でした。

変更

会社名	変更前	変更後	変更年月日
	代表者	代表者	
(株)長坂組	長坂 知通	長坂慎太郎	令和元年5月31日
高藤建設工業(株)	高藤 一男	高藤 友紀	令和元年5月31日
(株)岡組	岡 昌弘	永井 賢士	令和元年6月27日
灰田建設(株)	細川 雅代	宮崎 精二	令和元年7月1日
(株)西山産業	小倉 継和	西山 剛央	令和元年7月26日

なお、変更があった時点で届出頂くようお願い致します。

県協会からのお知らせ

令和元年9月行事予定

- 9月 3日(火) 正副会長会議
土木委員会 役員会
青年委員会 金沢河川国道事務所との意見交換会
(ANAクラウンプラザホテル金沢)
- 4日(水) 土地改良委員会 県への要望事項提出
(農業政策課技術管理室)
- 6日(金) ドローン講習会(第9回)
石川県認知症高齢者等地域支援ネットワーク推進連絡会議 (石川県地場産業振興センター)
- 7日(土) ドローン講習会(第9回) (金沢市七曲)
- 8日(日) 経理事務士検定試験
- 10日(火) 4級経理事務士特別研修(～11日)
- 11日(水) 県央農林安全対策協議会 安全パトロール
(県央農林総合事務所)
石川県管工事協同組合 設立五十周年記念式典・祝賀会 (ホテル日航金沢)
- 12日(木) 東日本建設業保証との懇談会
- 13日(金) 会報編集委員会
建設人社インタビュー
- 18日(水) 全建 協議委員会(東京 東京プリンスホテル)
土木委員会安全対策部会 正副部会長会議
- 19日(木) 広報・研修委員会 (ホテル金沢)
- 20日(金) ほくりく地域産業企業年金基金 事業主説明会
(石川県地場産業振興センター)
ドローン講習会(第10回)
- 21日(土) ドローン講習会(第10回) (金沢市七曲)
- 23日(月) 国会議員との懇談会 (金城楼)
- 24日(火) 全国建産連会長会議
暴力等対策特別委員会 (東京)
- 26日(木) 建災防 全国大会(～27日) (福岡市)
- 27日(金) 事務局打合せ
- 30日(月) 北陸建設業協会会長会議
(富山 ANAクラウンプラザホテル富山)

- 3日(木) 正副会長会議
常任理事会
金沢協会50周年記念式典 (ホテル日航金沢)
- 4日(金) 女性職員による現場見学会
- 7日(月) ゴルフ大会 (片山津ゴルフ)
- 9日(水) 暴力団追放石川県民大会
(津幡町文化会館シグナス)
- 11日(金) 建設業経営講習会
- 16日(水) 石川県土木施工管理技士会 研修会(～17日)
(中京エリア)
IT講習(～17日) (河北郡市土建協同組合)
- 23日(水) 北陸地域懇談会
(富山 ホテルグランテラス富山)
- 30日(水) 土木委員会 研修会(～31日) (関西エリア)
- 11月 5日(火) 東日本建設業保証(株) 参与会
(東京 パレスホテル東京)
- 6日(水) 全建 全国建設労働問題連絡協議会
(東京 浜離宮建設プラザ)
- 7日(木) 正副会長会議
国土交通省との意見交換会
- 14日(木) 青年委員会 講演会
- 15日(金) 地区協会合同研修会 (七尾市)
- 25日(月) 保証事業石川協議会 (KKRホテル金沢)
- 令和2年
1月21日(火) 協会・組合合同新年会 (ホテル日航金沢)

令和元年10月以降の行事予定

- 10月 1日(火) 東日本建設業保証(株) 社長来館
- 2日(水) けんせつフェア北陸in富山2019(～3日)
(富山 富山産業展示館(テクノホール))
建設技術報告会(～3日)
(富山 富山産業展示館(テクノホール))

「協会報」への随筆等投稿(お願い)

- 随筆文字数 400字詰め原稿用紙3枚(1,200字以上)
- 投稿の期日 毎月25日頃(翌月号の編集締切り)
- 協会報の発行 毎月1日発行
(毎月10日前後納入、会員送付)
- 謝礼 投稿頂いた記事について薄謝贈呈

(注) お問い合わせは、
(一社)石川県建設業協会事務局広報担当
TEL 076-242-1161 (代) 内線40番

地区協会からのお知らせ

(一社)金沢建設業協会

- 《行事予定》
 9月 2日(月) 青年：BCP訓練
 青年：技術防災セクション
 3日(火) ポウリング委員会
 4日(水) 常任理事会
 青年：消火技術競技大会
 5日(木) テレビ講座
 10日(火) 建築：市設計技術管理室との会議
 12日(木) 青年：情報発信セクション
 13日(金) 土木・建築 合同ゴルフ大会
 17日(火) 青年：幹事会
 19日(木) 土木：県実務担当者との意見交換会事前打合せ
 25日(水) 青年：視察研修(～26日)
 26日(木) 建築：市実務担当者との意見交換会

- 《お知らせ》
 10月 3日(木) 協会創立50周年記念式典

(一社)加賀建設業協会

- 《お知らせ》
 10月20日(日) エコフェスタinかが
 23日(水) 小松工業高校インターンシップ受け入れ(～25日)

(一社)小松能美建設業協会

- 《行事予定》
 9月 4日(水) 南加賀農林総合事務所との意見交換会
 6日(金) 親睦研修旅行
 14日(土) 梯川ゴミ拾いボランティア
 18日(水) ほくりく地域産業企業年金基金説明会
 23日(月) 小松市「のりもの動物園」協力

(一社)白山野々市建設業協会

- 《行事予定》
 9月 8日(日) 第7回白山白川郷ウルトラマラソン
 第60回石川県防災総合訓練(野々市)

- 9月12日(木) 石川土木総合事務所との意見交換会
 20日(金) 親睦ゴルフコンペ
 25日(水) 翠星高校インターンシップ(～27日)
 27日(金) 理事会

(一社)羽咋郡市建設業協会

- 《行事予定》
 9月26日(木) 監理技術者講習会
- 《お知らせ》
 10月1日(火) 10日(木) 29日(火)
 管内生コン工場の品質管理監査
 6日(日) 建設機械試乗会
 「はくい福祉まつり」の特別企画として参加
 中旬～ 第16回「小学生の見た建設の絵」入賞作品の
 展示会開催
 下旬 農林工事安全パトロール
 11月 8日(金) こども除雪車ふれあい教室(羽咋土木)

(一社)七尾鹿島建設業協会

- 《行事予定》
 9月 6日(金) 城山クリーン大作戦ボランティア

(一社)鳳輪建設業協会

- 《行事予定》
 9月 3日(火) 建設業者のための独占禁止法講習会
 12日(木) 奥能登土木委員会と奥能登土木総合事務所との意見交換会
 20日(金) 能登産業技術専門校前期修了式
 下旬 奥能登土木委員会と奥能登農林総合事務所との意見交換会

(一社)珠洲建設業協会

- 《行事予定》
 9月12日(木) 奥能登土木総合事務所と奥能登土木委員会との意見交換会

不慮の災害事故発生にそなえて

全建協連総合補償制度 自動車保険

お問い合わせは・・・



石川県総合建設業協同組合
 損害保険ジャパン日本興亜株式会社
 損保ジャパン日本興亜保険サービス株式会社
 TEL 076 - 231 - 7787
 FAX 076 - 231 - 7766
 〒920 - 0919 金沢市南町5 - 20
 中屋三井ビル2F

関係機関からのお知らせ

全国不正軽油撲滅強化月間について

～石川県不正軽油撲滅対策協議会・石川県からのお知らせ～

10月は全国不正軽油撲滅強化月間です。

不正軽油()は、刑罰をとまなう重大な犯罪です。不正軽油の製造、販売、使用はもちろん、不正軽油に使用されることを知りながら材料を提供・運搬した人、不正軽油を製造する場所を提供した人なども重い罰則が適用されます。

不審な業者や施設などの、不正軽油に関する情報をお寄せください。

「不正軽油」とは、主に灯油やA重油を不正に混ぜて、軽油と称して流通しているものです。

不正軽油は、軽油引取税の脱税にとどまらず、環境汚染の原因にもなっています。

また、石油製品販売業、運輸業、建設業等の公正な市場競争を阻害します。



フリーダイヤル 0120-797623 (なくなるーふせい)

ファックス番号 076 (225) 1275

メールアドレス keiyu110@pref.ishikawa.lg.jp

ホームページ www.pref.ishikawa.lg.jp/zei/huseikeiyu/

令和元年暴力団追放石川県民大会の開催

(公財)石川県暴力団追放運動推進センター・石川県警察本部・津幡警察署

令和元年暴力団追放石川県民大会を下記のとおり開催します。本大会は、広く県民に対して暴力団追放意識の高揚を図り、暴力のない安全で明るく住みよい石川県を実現するため、毎年開催しています。皆様方のご参加をお願いします。

記

日時 令和元年10月9日(水)午後2時から午後4時まで

場所 石川県河北郡津幡町北中条3丁目1番地

「津幡町文化会館シグナス」ホール

大会内容 第一部 主催者あいさつ、ご来賓祝辞、功労表彰、大会宣言

第二部 県警音楽隊演奏、暴力団追放寸劇